

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO MUSIC新田教室 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 5月 16日		2025年 6月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 5月 26日		2025年 5月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 6月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との安定した関係性が構築出来てきている。	保護者にお子様の成長を具体的にイメージしていただけるよう、日々の活動での様子や本人の状態を細かく伝えることを意識して取り組んだ。 また、保護者からの相談等には迅速に対応し寄り添う姿勢を大切にしました。	日々の保護者への申し送りを丁寧に行い、家庭や学校での様子、事業所での様子を共有することで共通理解を持ち支援を行えるように努める。 保護者からの相談や申し入れに対して今後も迅速かつ適切に対応を行う。
2	日々の活動の際に地域資源(公園等)を活用することで地域交流の場が増えている。	室内活動以外に、事業所周辺の公園での外活動を取り入れることで地域の人との交流ができる活動を増やした。 活動を通して子どもたちにも事業所周辺の地域資源を知ってもらえるよう意識した。	今後も外活動を行う際には積極的に地域の公園等を利用して地域住民との交流の場を持っていく。 活動の様子をSNS等に投稿し日々の活動の様子を発信している。
3	季節に合ったプログラムを行うことで季節感を意識した支援が提供できる。	毎月のプログラムを、その月のイベントや季節に合った内容にすることで、楽しみながら季節感を意識しながら活動できるような活動プログラムの立案を意識した。	プログラム作成の際は季節を感じられる内容にし、季節行事などを積極的に活動に取り入れていく。 音楽療育の特徴を活かしながら季節の歌等を積極的に取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の公園で外活動を行うことはあるが、地域の学校、児童館等との交流が出来ていない	外活動を通して地域の公園などでは定期的に活動を行い地域住民とかかわることはあるが、学校や児童館等との交流を行う機会を設けることができていない 送迎時以外、近隣の小学校とかかわりを持つことができていない	地域のイベントなどがある際は活動の一貫として参加できるように地域の情報を収集する 学校や、児童館等との交流ができるイベントなどを検討する 近隣学校へのあいさつ回りをすることで連携強化する
2	音楽療育のプログラム内容が固定化している部分がある	毎月、プログラム内容は変えているが子どもたちの中には1ヶ月の中で飽きが出てきてしまう事もある 全年代に合わせたプログラム作成を意識しているが、年代によってレベルを合わせる事が難しい場合もある	プログラム立案の際は職員からの案を積極的に取り入れ、1ヶ月のプログラムに楽しんで参加してもらえるように工夫していく 個々に合わせて対応できるよう、職員のスキル向上に努める
3	職員の定着に時間がかかってしまった。	職員の入れ替わりがあり、スタッフの定着に時間がかかってしまった。	職員育成マニュアルの見直しを行い、人材育成に力を入れていく。 日々の業務内容の見直しを行い、働きやすい環境づくりに努める。